

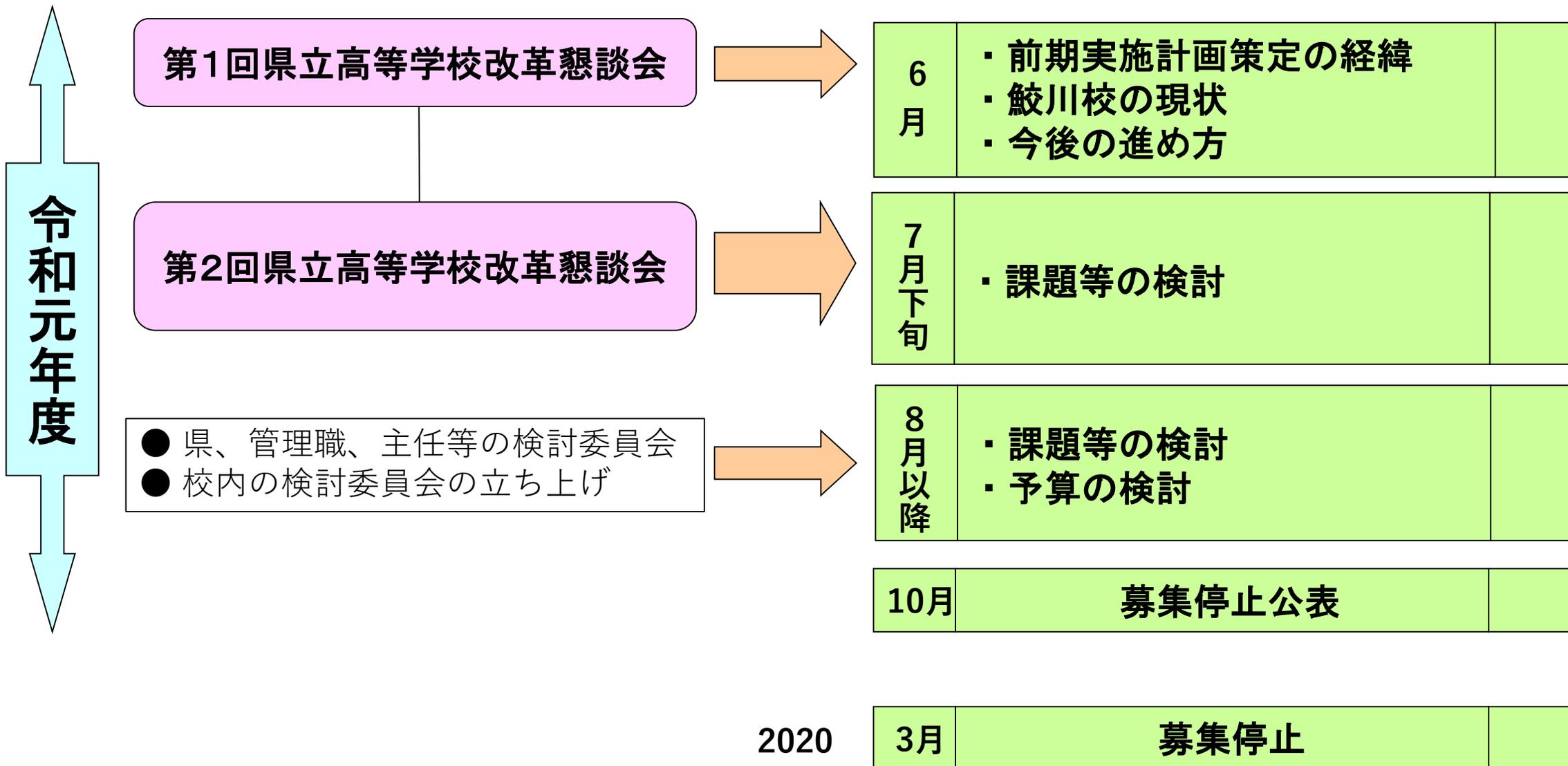
第2回 県立高等学校改革懇談会 『修明高校鮫川校』



日時：令和元年 7月30日（火） 14：00～15：30
場所：修明高等学校鮫川校

福島県教育委員会

県立高等学校改革懇談会の進め方



本日の内容

1

第1回懇談会でいただいた御意見について

2

今後について

1

第1回懇談会でいただいた
御意見について

1

第1回懇談会での御意見のまとめ

- ① 少子化の進行を見ると、募集停止もやむを得ないという考えになるが、懇談会が有意義なものとなるよう、地域の方々、関係者への丁寧な説明が必要である。
- ② 様々な課題を抱えた生徒への対応をどう考えているのか。
- ③ 中学生にとって重要な選択肢の一つであり、これまで鮫川校に入学していたような生徒の今後の進学先はどうするのか。

① 「県立高等学校改革前期実施計画」公表までの経緯

学校教育審議会の動き

※ 有識者19名で構成

- 平成28年 5月 社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について諮問
- 平成28年 7月～ 学校訪問（都市部の高校、周辺部の高校）
- 平成28年 12月～ 中間まとめ公表（県内7地区での※教育公聴会）
- 平成29年 6月 県教育委員会へ答申

※ 教育公聴会メンバー：各地区の中学生、高校生、
小中学校のPTA会長および高校の学校評議員

県立高等学校改革基本計画 素案公表 平成29年11月

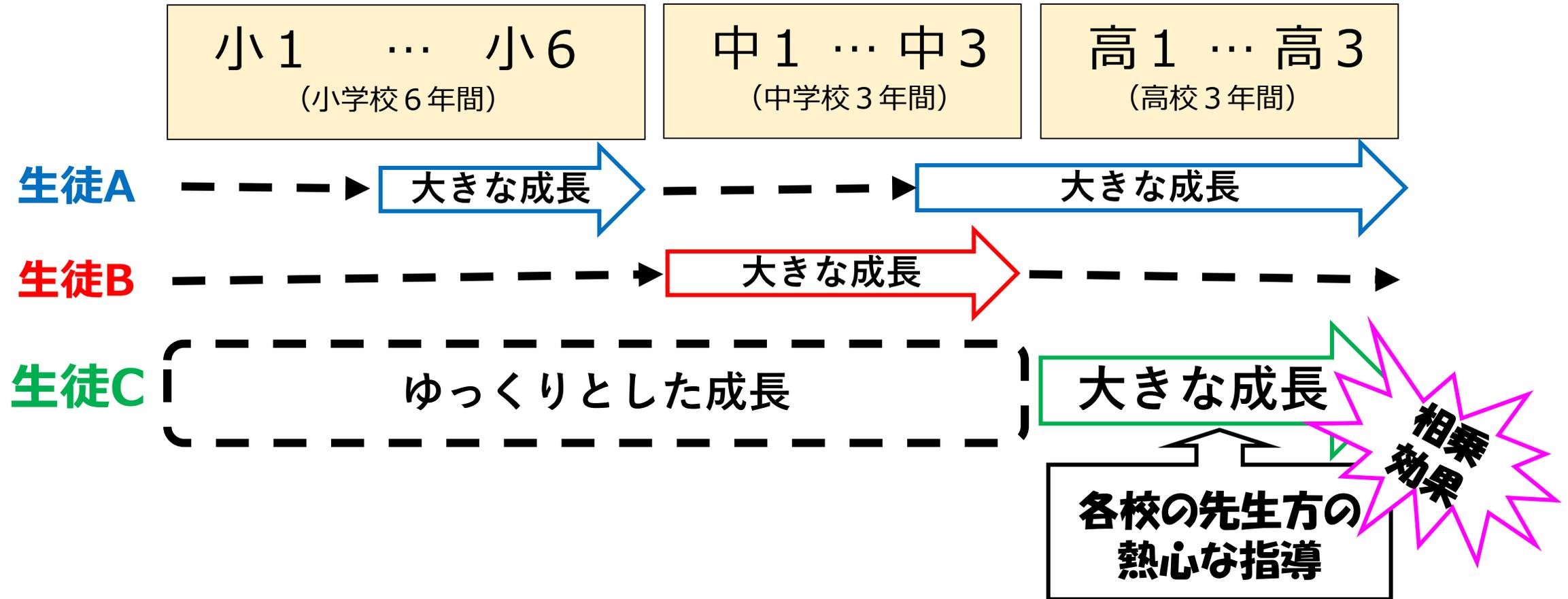
県民の皆様からの意見聴取

- 平成29年11月～平成30年2月 パブリックコメント（期間を延長して実施）
- 平成30年 1月 県内7地区での※教育公聴会

県立高等学校改革基本計画の策定 平成30年 5月

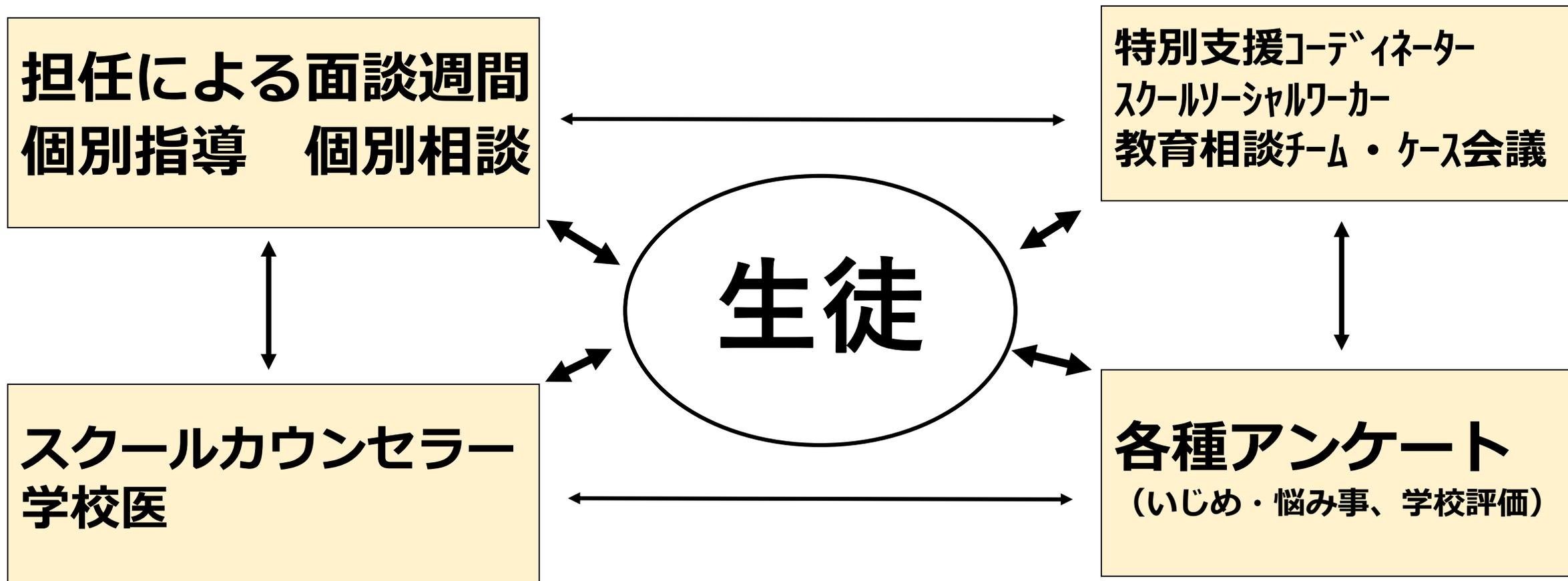
- 県立高等学校改革**前期**実施計画（2019年度～2023年度）5年間（平成31年2月公表）
- 県立高等学校改革**後期**実施計画（2024年度～2028年度）5年間

② 児童・生徒の成長のタイミング



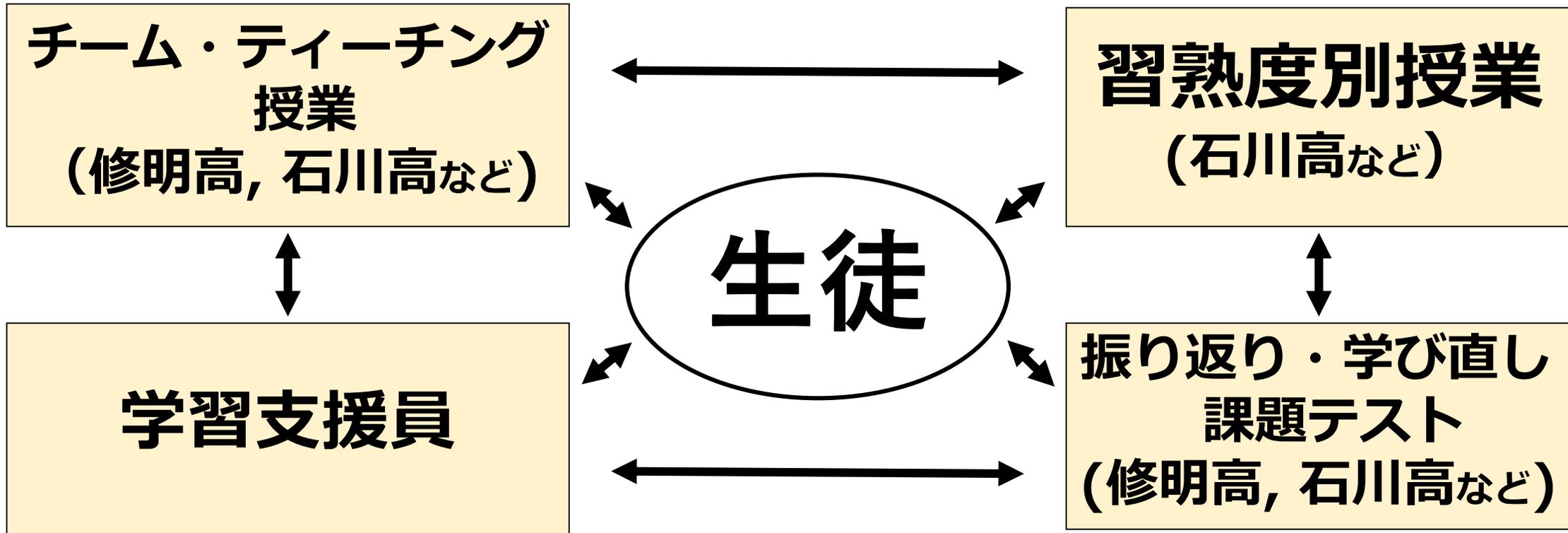
生徒が成長する タイミング・大きさ に合わせて、小・中・高それぞれの発達段階で、丁寧な指導が求められている。

② すべての高校でのきめ細かな取り組み



生徒一人一人に対する様々な角度からのアプローチと支援

② 個に応じたきめ細かな学習指導



生徒一人一人に対する様々な学習支援

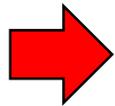
③ 修明高等学校 の特色 (その1)

地域を愛し、地域に学び、
地域を担う人材育成

1 幅広い 教養

- ・ わかりやすい授業の実践、基礎・基本の確実な定着と学力の向上を図る。
- ・ 「産業社会とIT」など、特色ある学校設定科目の充実。

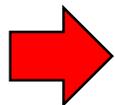
数学
英語
家庭科



チームティーチング授業

複数の教員で授業を展開し、つまづいている生徒の支援をすることにより、学習内容の確実な定着を図っている。

特色ある
科目



魅力的なカリキュラム

興味・関心や進路希望に応えることができる科目を設定し、学習意欲を高める。

③ 修明高等学校 の特色 (その2)

地域を愛し、地域に学び、
地域を担う人材育成

2 豊かな 人間性 を養う

- ・ きめ細やかな指導で、基本的な生活習慣と規範意識の確立に努める。
- ・ 担任やスクールカウンセラー等による教育相談体制を充実し、悩みや行動の変化に的確に対応できるよう努める。

チームとしての支援体制

特別支援コーディネーターが中心となり、支援が必要な生徒一人一人に関して、学年・学校全体で情報を共有しながら、チームで支援にあたる。

3 地域との 連携

- ・ 地元企業や施設での職業体験
↳ 進路希望の実現へ

棚倉町との連携協定

- ・ 修明高校で開発の「修明ブルーベリーカレー」が、ふるさと納税返礼品に！
- ・ 商業科の生徒による空き店舗を利用した販売実習「修明笑店」を実施！

③ 石川高等学校 いしかわWORK&LIFE教育（デュアルシステム） の特色(その1)

地域企業・石川町・石川高校が連携して取り組むキャリア教育を実践

1. 学習支援員等によるきめ細かな学習支援の実施
2. スクールカウンセラー、特別支援コーディネーターによる教育相談

充実した支援体制

特別支援コーディネーターが中心となってスクールカウンセラーと教員が情報共有・連携。

数学・英語

チームティーチング授業

少人数指導

2年生から4グループに分割し、授業を展開。一人一人の理解状況をしっかりと把握し、学習内容の確実な定着と達成感の醸成を図る。

中学校時、不登校や保健室登校経験者も、
教室に入って授業を受け、充実した高校生活を送っている。

③ 石川高等学校 いしかわWORK & LIFE教育（デュアルシステム） の特色（その2）

地域企業・石川町・石川高校が連携して取り組むキャリア教育を実践

総合的な学習（探究）



1. ライフプランとキャリアアップ
グループ活動による「コミュニケーション能力」と「協調性」の向上 → 進路希望実現
2. 地域との連携 → 地域ぐるみで生徒の成長をサポート

石川高校の特色のある取り組み

石川高校と石川町が連携し、石川町で復元した屋敷を舞台に他世代間の交流を図る活動について紹介。「高校生社会貢献活動コンテスト」において、チーム石高の「まちのリビング」プロジェクトが最優秀賞に輝きました。



③ 特色ある取り組みの実現

修明高校
(全校生徒：374名)

石川高校
(全校生徒：197名)

一定の
学校規模

- ・ 教員数の確保
- ・ 一定規模集団における社会性の醸成

特色ある教育課程

充実したキャリア教育

地域と連携した豊かな学び

+

熱心な
指導

2

今後について

「募集停止」とした場合の県としての支援策

鮫川校在校生への支援

○ 教員配置面での支援

例えば・・・

- ・ 修明高校から専門科目の教員の派遣（兼務）
- ・ 修明高校教職員の進路指導の援助

○ 教育環境の保障

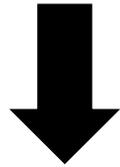
例えば・・・

- ・ 修明高校の特別活動への合同参加（芸術鑑賞会、生徒会活動など）
- ・ 施設や設備などの学習環境の維持

「募集停止」とした場合の跡地について

○ 跡地の利活用について

土地：鮫川村が所有
校舎：県が所有



今後、鮫川村と県で協議しながら、具体的な内容について検討を進めていく。